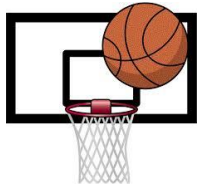




杉戸東中だより『ふなと』

学校教育目標「自学・友愛・鍛錬」

令和5年6月1日



「やり抜く力（GRIT）」 ～あきらめたらそこで試合終了～

校長 吉川 彦

「あきらめたらそこで試合終了」 壮行会でもお話ししましたが、これは海外にも多くのファンをもち、今も圧倒的な人気を誇る名作「SLAM DUNK」（スラムダンク）に登場する安西先生の言葉です。そして、その言葉を忘れることなく、通信陸上競技大会、学校総合体育大会では、最後まであきらめずに粘り強く戦う東中生徒たちの姿を拝見することができました。練習の成果を十分に発揮して県大会の切符を手にした生徒、仲間と励まし合いながら最後まで懸命にプレーした生徒、けがの痛みをこらえながらゴールまで走り抜いた生徒、チームの勝利を信じて試合終了まで声をからしながら応援した生徒。結果や立場はそれぞれですが、どの生徒も持てる力を発揮し、自分の役割をしっかりと果たしていました。そして、その直向きな姿から生徒たちの大きな成長を実感し、胸が熱くなりました。これまで指導にあたってきた教職員、応援していただいた保護者・地域の皆様に心より感謝いたします。

さて、大会を通して特に印象に残った試合は、男子バスケットボール部の1回戦です。試合前は劣勢が予想されていましたが、絶対に勝つという気迫が伝わる試合を展開し、延長戦までもつれる手に汗握る接戦となりました。試合終盤では、選手たちが次々に脚をつりながらも必死にプレーを続け、最終的には、31対30の1点差で見事勝利を収めました。勝敗を分けたものは何か？ 私は東中生徒たちの「情熱」と「粘り強さ」、最後まで「やり抜く力」だったと考えます。

表題の「やり抜く力（GRIT）」は、アメリカの心理学者でペンシルバニア大学教授のアンジェラ・ダクワース氏が提唱した言葉です。彼女は、「人生において成功の鍵を握っている能力は何か」という研究に取り組み、『成功する人に共通する特徴は「情熱」と「粘り強さ」、すなわち「やり抜く力（GRIT）」である』と結論付けました。数年前、日本でもその研究成果をまとめた書籍がベストセラーになり、現在も教育界や産業界をはじめ様々な分野で反響を呼んでいます。私も発売当時に拝読しましたが、もう一度読み返してみると多くの共感と学びがあります。グリット（GRIT）は、以下4つの要素を表す英語の頭文字を取ったものです。

1. Guts（ガッツ）： 困難なことに立ち向かう「闘志」
2. Resilience（レジリエンス）： 失敗してもあきらめずに続ける「復活力」
3. Initiative（イニシアチブ）： 自ら目標を見つけて取り組む「自発性」
4. Tenacity（テナシティ）： 最後までやり遂げる「執念」

この研究の興味深い点は、「才能や知能」と「やり抜く力」には、全く関係が無いと定義付けたことです。（「才能が重要ではない」という話ではなく、「才能があったとしてもそれを生かせるどうかは別の問題である」ということです。）多くの人は、「才能がないから成功できない」と考える傾向があります。しかし、成功者の多くは、長い時間をかけて努力を積み重ね、何度も失敗や困難を乗り越え、粘り強く続けてきた結果であるといえます。また、こうした「やり抜く力」が強い人ほど、成功をつかみやすいだけでなく、精神的に健康な生活を送れることから、人生における幸福感も強いといわれています。（ウェルビーイングを高める「幸せの4因子」にもつながります。）

東中学校の目指す生徒像の一つとして、「自ら心身を鍛え、最後まで粘り強くやり抜く生徒」を掲げています。生徒の皆さんは、自分の夢や目標に対する情熱を持ち続け、失敗を恐れず様々なことに挑戦してください。そして、小さなことでもいいので成功体験を積み重ね、「自分にもできる」という自信や自己肯定感を高めていきましょう。いよいよ体育祭本番を迎えますが、これまでの地道な努力や挑戦が実を結ぶよう、生徒の皆さんの「やり抜く力」を大いに期待しています。

【感謝とそれぞれの場所で頑張る決意】

5月2日(火)、昨年度までお世話になった先生方が、久しぶりに東中学校にいらっしゃいました。お別れして約一ヶ月でしたが、お世話になった先生との再会により、自分たちも頑張ろうという気持ちになった人も多かったのではないのでしょうか。離任された先生方から「一ヶ月しか経っていないのに、もうずいぶん前のことのように感じる」とお話がありました。それはきっと、先生方も新生活に慣れようと4月からの一ヶ月を頑張ったからなのでしょう。大人も成長しようとしているのです。みなさんも先生方に負けないよう、東中学校でやるべきことを頑張る、自分自身を成長させましょう。



【東中モデル～自分たちの手で、とても良い学校をつくりあげよう～】

5月12日(金)、生徒総会が行われました。今年度のテーマは『先生や保護者の手を借りず、自分たちの手でとても良い学校をつくりあげよう』でした。このテーマに基づいて、第5号議案では、生徒たちが自分たちの手で校則や生活のきまりについて見直しました。制服の衣替え時期を設けなかったり、チャイムを鳴らさなかったりしてもきちんと生活できるのではないかな等、多様な意見が出されました。自分たちの手できまりを見直すということは、簡単なことではありません。テーマに沿ってきちんと議論を進める力に加え、決まった内容に実際に取り組みでいく力が求められます。これが「自治・自律」です。正式には6月の生徒朝会にて、生徒総会の議論の結果が伝えられます。いよいよ、生徒のみなさんによる『とても良い学校』づくりがスタートです。自分たちの取り組みを自分たちが振り返り、評価し、改善していく＜東中モデル＞に期待します。



【学校総合体育大会と通信陸上競技大会とある日の出来事】

5月24日(水)より、学校総合体育大会地区予選が行われ、運動部がそれぞれベストなパフォーマンスを出そうと頑張りました。おつかれさまでした。その中で、女子ソフトテニス部の山下美優さん・遠藤令菜さんのペアが7月の県大会出場権を獲得することができました。おめでとうございます。また、陸上競技部でも通信陸上競技大会地区予選会において上路健さんが、男子1年100mで県大会の出場権を獲得しました。県大会に出場する3名は、東中の代表として、引き続きチャレンジすることを忘れずにプレーしてください。応援しています。

さて、先日、女子ソフトテニス部の部員から、校務員の竹下さんにお礼を伝えたいと申し出がありました。日頃、学校や部活動の環境を整備してくださっていることへの感謝を伝えたいとのことでした。部活動も生活も自分たちだけでは成り立ちません。当たり前ですが、そのことに気づくことができたのは素晴らしいことです。選手としても人としても成長している彼女たちに拍手と敬意を表します。



<6月の行事予定>

- 2 (金) 体育祭練習、会場準備(5・6校時)
- 3 (土) 体育祭
- 5 (月) 振替休業日
- 6 (火) 緑の羽根募金(～6/9)
体育祭予備日①
- 7 (水) 専門委員会
- 8 (木) 体育祭予備日②
スクールカウンセラー来校
- 9 (金) 生徒朝会、教育実習終了
- 13 (火) 修学旅行1日目(3年生)
- 14 (水) 修学旅行2日目(3年生)
- 15 (木) 修学旅行3日目(3年生)
- 16 (金) 東部地区学力検査(3年生)
- 19 (月) 学校運営協議会
- 21 (水) 生徒朝会、中央委員会
ふれあいデー
- 22 (木) スクールカウンセラー来校
- 23 (金) 朝清掃
- 26 (月) 全校朝会
- 28 (水) 学校総合体育大会(陸上競技)
- 30 (金) テスト前諸活動停止(～7/3)

<7月の行事予定>

- 3 (月) 期末テスト1日目
- 4 (火) 期末テスト2日目
- 5 (水) 表彰朝会、専門委員会
- 6 (木) スクールカウンセラー来校
- 12 (水) 生徒朝会、中央委員会
- 17 (月) 海の日
- 18 (火) 1学期給食最終日
- 19 (水) 大掃除、ふれあいデー
- 20 (木) 終業式
- 21 (金) 夏季休業日(～8/27)
三者面談期間(～7/28)

部活動終了時刻 17:45

完全下校時刻 18:00

1学期も後半に入りました。年度当初に立てた目標は、達成できそうですか？目標を達成するためには自分の取組を見つめ直し、改善していく力も必要です。